



東御市

第87号
2025.11.1

議会だより

- 2～7 …… 令和6年度一般会計決算審査
令和6年度特別会計・公営企業会計決算審査
予算決算特別委員会審査報告
- 8 …… 令和7年度一般会計補正予算
- 9 …… 討論/現地調査報告
- 10 …… 提出案件の審議結果
- 11～17 …… 市政を問う
- 18 …… きらり☆キラリ「伊藤隆也さん」

令和6年度 一般会計決算審査 認定

表紙の写真
とうみの秋

**障害者自立支援
介護給付費**
6億8,804万円

障害者総合支援法に基づき、障がい者・障がい児（身体・知的・精神）の在宅・入所者に対し、適切な介護、訓練など個別の給付により支援をしました。



No.	サービス種類	支給決定者 (実定員)	延べ人員
1	訪問系サービス	58	715
2	短期入所	39	100
3	療養介護	6	51
4	生活介護	81	938
5	施設入所支援	47	588
6	自立訓練	8	28
7	就労移行支援	16	37
8	就労継続支援	149	1514
9	就労定着支援	2	25
10	共同生活援助	53	550
11	計画相談支援	302	1172
12	地域相談支援	8	70

障害者自立支援介護給付費の昨年度実績

**生活困窮者
自立支援事業費**
2,569万円

新規相談件数は前年度より32件増の107件で、70歳代の相談が急増しました。

令和6年度
一般会計

健康・福祉

就労希望者80名のうち27名が就労につながりました。また社会的なひきこもり状態にある人や、その家族への相談・訪問を28件行い、自立を支援しました。

**子ども・子育て
支援交付金事業費**
6,509万円

妊娠・出産・育児における不安感・孤立感といった精神的・経済的負担の軽減をはかるため、地域全体で子どもの健やかな成長を支援し、子育て家庭を見守り応援できる環境づくりをしました。0歳児から利用できる一時預かり事業は延べ868人の利用がありました。子ども第三の居場所を

**子どもサポーター
センター事業費**
4,275万円

すべての妊産婦、子育て世帯が安心して出産・子育てできる環境を整え、子どもの発達、成長を支えるため、子どもが大人になるまで継続的、包括的な支

妊娠・出産・育児における不安感・孤立感といった精神的・経済的負担の軽減をはかるため、地域全体で子どもの健やかな成長を支援し、子育て家庭を見守り応援できる環境づくりをしました。0歳児から利用できる一時預かり事業は延べ868人の利用がありました。子ども第三の居場所を

すべての妊産婦、子育て世帯が安心して出産・子育てできる環境を整え、子どもの発達、成長を支えるため、子どもが大人になるまで継続的、包括的な支

子育て・教育

開設し、延べ2,199人が利用し、学校・家族以外の人とのふれあいなどで心身の育成に繋げることができました。

**不登校対策・特別支援
教育事業費**
5,253万円

不登校児童・生徒の学習機会を保证するための中間教室の設置やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員などの配置をしました。



すくすくぼけっとのサイトトップページ

**妊娠出産
包括支援事業費**
2,597万円

妊産婦の不安や負担を軽減するため、専門職による伴走支援、給付金の支給を行いました。相談事業では母子健康相談は延べ617人、子育て（心理）相談は延べ42人など、乳児家庭訪問は155件、産後ケア事業では宿泊利用は延べ100泊、通所利用は延べ183回、産後健康診査は受診者277回でした。また出産応援給付金は延べ133人、子育て応援給付金は延べ155人へ支給しました。

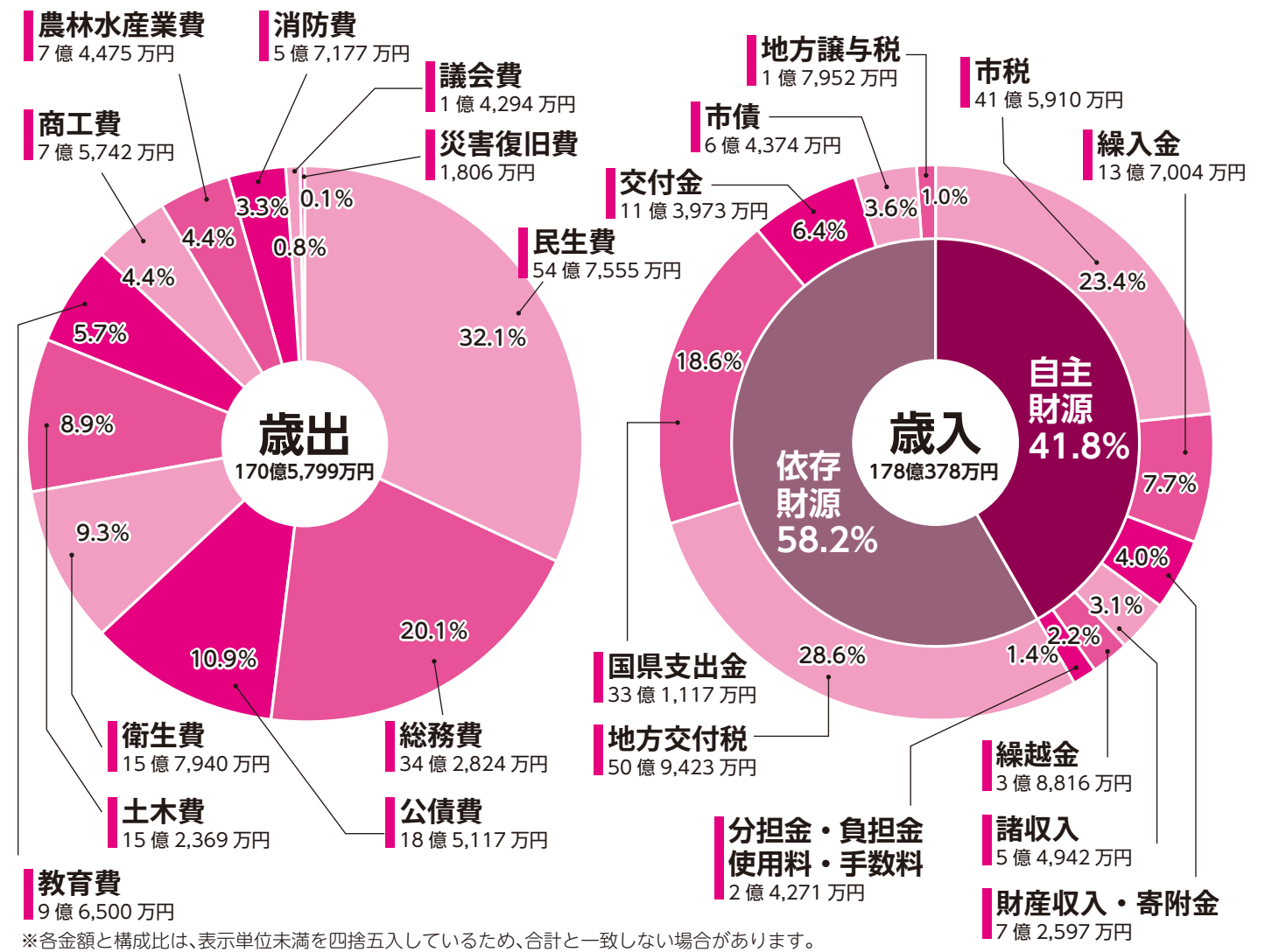
事業では宿泊利用は延べ100泊、通所利用は延べ183回、産後健康診査は受診者277回でした。また出産応援給付金は延べ133人、子育て応援給付金は延べ155人へ支給しました。

滋野小学校隣接地に新たな滋野児童館を整備しました。児童クラブを併設し、職員の連携体制を整え、見守り体制の強化をはかりました。手続きの都合により太陽光設備の稼働に遅れが出ており、10月1日からの稼働予定とのことです。社会文教委員会からこれ以上の遅れがなく稼働するよう要望しました。

令和6年度
一般会計

3億1,649万円

令和6年度 一般会計決算審査 認定



令和6年度一般会計決算額は、歳入総額178億378万円、歳出総額170億5,799万円となり、歳入歳出差引額は、7億4,004万円です。翌年度への繰越明許費の繰り越し財源5,328万円を差し引いた実質収支は6億9,251万円の黒字決算となりました。これにより、地方自治法第233条の2等の規定により財政調整基金へ3億4,626万円を積み立てることとし、残り3億4,625万円を令和7年度に繰越しました。

令和6年度一般会計決算は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した低所得世帯支援事業、滋野児童館建設事業のほか、御堂地区ワイン振興施設整備事業、庁舎1階の窓口DX化業務などです。当初153億4,000万円でスタートした一般会計予算は、13回の補正が行われました。

なお、市財政の実質公債費比率、将来負担比率はい

賛成討論
大谷 真由議員

令和6年度東御市一般会計歳入歳出決算は教育・子育て・福祉・農業・シティプロモーション・移住定住などバランスよく市民の生活の支援と市の活性化に様々な取組がされた。一方で実質単年度収支では約4億2,784万円の赤字となっている。この主な要因は人件費の増加であり、物価高騰対策と働き手の確保のためであったが、本年度以降では財政健全化の取組が必要である。

市の発展、市民生活の向上の取組を継続し、市民が東御市に住んでよかった働いてよかったと思える市に向けた運営を求め、賛成する。

学力・体力向上
対策事業費

4,713万円

各校にICT教育支援員が入り、子どもの主体的な取り組みや学びが深まるよう学習支援ソフトの有効活用をはかりました。

東部地区小学校
給食センター建設
実施設計等業務委託料

1,700万円

建物の基本設計および実設計、用地取得にかかる不動産鑑定委託などを実施しました。



東部地区小学校給食センター外観イメージ図

令和6年度
一般会計

くらし・環境

窓口DX化業務諸経費

6,749万円

窓口フロントヤード改革として本庁舎1階の大規模な配置換えを行うとともに、
*1 RPAを用いた窓口支援システムを導入して書かない・待たない・回らない窓口を創設しました。まずは書かない窓口を開始し、市民の負担軽減およびサービス向上をはかりました。

税務総務事務諸経費

733万円

令和6年12月から、全国の提携するコンビニエンスストアで、年間を通じ6時30分から23時の時間帯に、所得証明書等を交付できるシステムを導入し、運用を開始しました。

生ごみリサイクル
事業費

7,275万円

リサイクル施設の運営業務において、モニタリングによる運営状況の確認により、適切な運営を実施しました。生ゴミ処理量は501t、生ゴミ堆肥の配布量は25t、可燃ごみの収集量は3,567tとなり、前年度の約102%、77t増量となりました。



書かない窓口の発券機

地球温暖化対策
推進費

4,553万円

各種地球温暖化対策補助金の実施により、再生可能エネルギーの利用が促進されました。また、地域電力会社エコパワーとうみによる公共施設*2 PPA事業を開始したほか、各種啓発活動により地球温暖化対策に対する市民意識の向上をはかりました。

*2 PPAとは、初期費用ゼロで太陽光発電を導入でき、使用した分の電気料金だけを支払えばいいため、設備投資のリスクを避けつつ、脱炭素化や電気代削減を目指す仕組み。

令和6年度
一般会計

農業

ワイン&ピア
ミュージアム運営事業費

1,380万円

ワイン&ピアミュージアムの特性を活かして、来場者・地域住民・生産者等へ多様なアプローチをはかることにより、「ワインシティ・とうみ」の実現・確立を目指しています。

地域おこし協力隊の企画による各種セミナーを開催し、参加者に向け、市内産ワインを核とした市の魅力をPRしました。



ワイン&ピアミュージアム

地域産物販売促進
施設建設工事費

6,928万円

地域産物販売促進施設を活用し、御堂産ワインを中心に東御市産ワインを市内外にPRすることにより、「ワインシティ・とうみ」の実現を目指しています。指定管理者として「㈱カーヴ・ド・ミドウ」と令和11年3月31日までの基本協定を締結しました。



ワインテラス御堂

地域計画推進事業費

5万円

10年後の農地利用に関するアンケートや、アンケートを基にした年齢階層別の就農や後継者の有無等を反映した地図を活用し、担い手農家への一層の農地の集積・集約を推進するため、5地区で2回ずつ計10回の話し合いを行い、地域計画を策定し、公表しました。

土地改良事業費
農業用施設耐震・
長寿命化事業費

8,642万円

地震や集中豪雨による農業用施設の事故や災害を未然に防ぐため、防災重点農業用ため池の耐震化および農業用施設の長寿命化を促進しています。令和6年度は加沢池の耐震改修を行いました。



改修中の加沢池



湯の丸高原のレンゲツツジ

観光・交通

観光地域づくり
支援事業費

3,077万円

湯の丸高原つつじ祭りを市発足20周年記念事業に位置付け、レンゲツツジ保全活動を年3回行いました。また、宿泊者限定のプレミアムナイトイベントの開催、ウインターシーズンにガイド付きのスノーシュートレッキングなどと東御の食を組み合わせた体験型・滞在型観光メニューを実施しました。

海野宿滞在型
交流施設改修工事費

4,939万円

海野宿滞在型交流施設（うんのわ）改修工事に要した費用です。



うんのわの客室

交通対策諸経費
地域公共交通確保
維持改善事業費

7,920万円

持続可能な地域公共交通システムの運営を支援するとともに、A-（人工知能）化によるデマンド交通の質の高いサービスの提供に努めました。

移住定住
促進

移住定住推進事業費
U・I・Jタウンによる
移住定住の促進

2,222万円

「移住体験ツアー」「移住体験交流施設」「就業支援」を一体的に提供するパッケージを提供し、体験ツアー参加者は46組、交流施設利用者者は51組といずれも過去最高の数値となりました。

空き家対策事業費

7,732万円

所有者向け空き家相談会の実施や空き家片付け補助

シティ
プロモーション

シティプロモーション
強化事業費

1,959万円

市発足20周年の節目の年を迎えたことから、デジタル技術を活用した効果的なシティプロモーションを展開することにより、市のブランド力の向上、関係人口の拡大、移住定住の促進をはかり、地域経済の活性化につなげました。

令和6年度
一般会計

地域づくり

公民館学習講座
運営費

4,817万円

市民の生活課題や地域課題を解決するため、生涯学習の場を提供することで、市民の暮らしの向上や安心して住みやすい地域づくりを目指した市民活動を支援しました。

公共施設
整備

県東深井線
歩道設置事業費

1,335万円

曽根地区における歩行者および通学児童・生徒の安全確保のため、地形測量および路線検討を行い、地権者との協議を実施しました。

令和7年度

令和7年度一般会計・特別会計補正予算

議案第55号

令和7年度 一般会計

補正予算(第2号)

東部地区小学校給食センター建設事業費
8,548万円

東部地区小学校給食センター建設に係る土地借地および造成工事に要する費用の補正です。

農業施設災害

復旧費(単独)

620万円

7月10日 豪雨により被災した農業用施設の急を要する費用の補正です。

新規就農者育成

総合対策事業費

740万円

新規就農者の経営発展に必要な機械や設備等の導入の補助に要する費用の補正です。

生活保護費

4,500万円

利用実績の増加に伴う扶助費の補正です。

体育施設照明

LED化事業費

1億3,400万円

体育施設の照明LED化に要する費用の補正です。

しなの鉄道 生活交通

改善事業負担金

459万円

しなの鉄道の生活交通改善事業に係る沿線自治体負担金の補正です。

防災情報通信施設費

455万円

全国瞬時警報システムJアラートの新型受信機の更新に対する費用です。

小学校施設整備事業費

200万円

北御牧小学校遊具修繕に要する費用の補正です。

議案第56号

国民健康保険特別会計

補正予算(第1号)

769万円

子ども・子育て支援金制度のシステム改修に要する費用の補正です。

議案第57号

介護保険特別会計

補正予算(第1号)

2,863万円

国県支出金および社会保険診療報酬支払基金交付金の過年度精算金の補正です。

議案第58号

後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

230万円

子ども・子育て支援金制度のシステム改修に要する肥料の補正です。

議案第62号

令和7年度 一般会計

補正予算(第3号)

宿泊交流拠点

施設整備事業

1億9,352万円

宿泊交流拠点施設の用地取得および有識者等による協議組織の運営等に利用する費用の補正です。

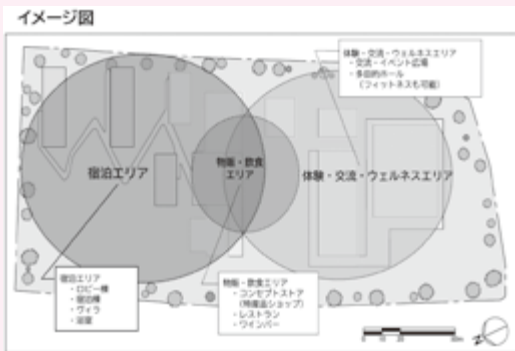
裁決の結果、原案の通り可決されました。原案賛成の討論、原案反対の討論内容は次ページの通りです。

東御市宿泊交流拠点施設整備事業

国の交付金(新しい地方経済・生活環境創生交付金「第2世代交付金」)を活用し、※DBO方式により民間活力を積極的に取り入れた公共施設(宿泊・交流の拠点施設)の整備事業。(新張区横堰)

ワイン産業を軸としたワインツーリズムをはじめ、スポーツツーリズムや東御市ならではの魅力ある地域資源を活かした様々な観光コンテンツと連携した地域活性化を図ることが目的。市内の宿泊施設不足の解消、滞在型・体験型観光の促進、雇用の創出、地域資源の有効活用などによる地方創生のモデルケースとして発展させるとしている。

※DBO方式とは・・・設計・建設・運営を民間事業者が一体的に担う事業スキームをいう。



※令和7年6月10日全員協議会時点でのイメージ図であり、確定したものではありません。

討論

議案第62号

令和7年度

東御市一般会計

補正予算(第3号)

対討論(要約)

大谷 真由 議員

宿泊交流施設を建設する企画は理解できる。しかし、建設をするのであれば、物価高騰による農業経営の圧迫、体育館や公民館分館への冷房設備の普及などの市民生活の課題にもより取り組むべきであり、市政が観光政策に偏重することを懸念し反対する。

反対討論(要約)

窪田 俊介 議員

本補正予算は、総事業費26億円超の「宿泊交流拠点施設整備事業」を開始する予算である。一方、新たな施設整備とその施設運営については漠としたままである。国の補助はあるものの、一般財源を投入する公共性を判断する材料がない。

反対討論(要約)

瀬田 智之 議員

現在の建築資材や人件費といった物価高騰の影響を受けるなか、観光需要の変化が読みにくい現状においての、宿泊交流拠点施設整備という本補正予算の「箱物」事業の実質的なスタートは、少子高齢化や人口減少、学校教育、社会福祉など喫緊の課題を抱える本市に直結する最優先の施策とは考えられない。

賛成討論(要約)

斉藤 哲 議員

宿泊交流拠点施設整備事業は、交流・滞在の機会を拡大し、観光消費や関係人口の増加という地方創生に資する投資である。滞在時間の延長により地域特性を活かすことは、宿泊施設不足といった本市の長年の課題に真正面から応えるとともに地域産業の裾野拡大にも寄与する。

事業を推進するにあたり市民への丁寧な情報提供をお願いして原案に賛成する。

総務産業委員会現地調査報告

9月定例会では、市が称津横堰地区で計画している「宿泊交流施設拠点整備事業」に係る補正予算が追加提案されました。

総務産業委員会では、企画振興課の委員会審査のうち、現地調査を行いました。実際に予定地の周囲をほぼ一周し、実際の地形や現況を確認しました。

地図などで事前の説明は受けていましたが、現地に

社会文教委員会現地調査報告

東御市民病院に開設された小児リハビリ室の現地調査を行いました。

近年、発達外来受診者の増加により、発達に特性がある子どもへの早期療育やリハビリテーションのニーズが高まっています。この施設は、発達に特性がある就学前の子どもを対象に、運動を通じて成長を支援します。

新型コロナウイルス流行時に使用した敷地内の旧院外診察室を改修し、活用し



関係者による現地視察と説明の様子。



関係り方を保護者と共有することが大切との説明がありました。

施設利用にあたり、市民病院の発達外来を受診することから始まりますので、子どもの発達に不安を感じた場合は、是非とも早めに相談していただきたいです。

東御市議会だよりを もっと身近に スマホ用アプリ「マチイロ」で「議会だより」を配信します



スマホで簡単に全国の広報誌が閲覧できるアプリ「マチイロ(運営:株式会社マチイロ)」で、東御市議会だよりが閲覧できるようになりました。「マチイロ」ホームページもしくは、右記の二次元バーコードからダウンロードしてください。

※アプリは無料で利用できますが、ダウンロードや情報の受信に通信料は利用者負担となります。

マチイロ

ダウンロードはこちらから

App Store GooglePlay



東御市議会のホームページから、今回の一般質問を動画で見ることができます。
パソコン、スマートフォンから、いつでもご覧いただけます。



← 一般質問

東御市議会



一 般 質 問

- 瀬田 智之** ●部活動地域移行に伴う送迎体制の整備について
●学校給食について
●子どもたちの防犯対策について
- 村山 弘子** ●公共交通の現状と今後について
●国民スポーツ大会に向けての進捗状況について
●宿泊交流拠点施設のその後の進捗状況について
- 佐藤 裕太** ●A E Dの設置状況等について
- 西山 福恵** ●小中一貫教育の取組について
●投票率向上と投票用紙のリサイクルについて
●感染症対策について
- 田中 信寿** ●小学校区単位の地域づくりについて
●農業生産現場の人手不足について
- 花岡 豊一** ●農福連携の取組について
●道路整備の取組について
- 市毛 真弓** ●祢津湯の丸バイパスについて
●子どもや赤ちゃん連れ家族が安心して利用できるトイレ施設について

- 高木真由美** ●地域包括ケアの深化とさらなる推進について
●生活困窮者支援と孤立・孤独対策について
●子育て・子育てを共に支える地域づくりの推進について
●安全・安心な子育て、教育環境の充実について
- 大塚 博文** ●地域防災計画について
- 田中 博文** ●災害時のペット避難対策について
●避難所の暑さ対策について
- 斉藤 哲** ●災害時の避難行動要支援者への支援体制について
●災害対策基本法等の一部改正に伴う取組について
- 窪田 俊介** ●子どもの医療費支援について
●国民健康保険について
●滞在型・体験型観光の推進について
- 大谷 真宙** ●破傷風ワクチンについて



学校給食で提供されている牛乳

る場合には、学校およびPTAとていない協議をし、状況に合った適切な対応を検討していく。

今般の社会情勢においては、不審者等の対応は必要不可欠であり、保育園保護者会連合会からも設置の要望を受けている。効率な設置場所や運用方法など、防犯カメラの設置に向けた検討を進めていく。

問 本市における物価高騰による影響はどうか。
教育次長 本市の学校給食で使用する食材についても物価高騰の影響は大きく、特に主食となる米飯は令和2年度に1食当たり51.1円であったものが、7年度は66.7円に値上がりし、30.5%の上昇、パンは45.9円が59.5円と、29.6%の上昇となっている。

主食以外にも、ほぼ毎日提供している牛乳は53.3円が67.5円に値上がりし25.6%上昇しており、それ以外の食材についても、価格高騰の影響を大きく受けている状況である。
問 激変緩和措置が終了する令和9年度までに給食費の改定はあるか。
教育次長 定められた給食費の中で最大限の努力を行い、保護者負担が増えないよう努めていくが、給食費の改定や見直しが必要となる



瀬田 智之 議員

学校給食について

子どもたちの防犯対策について

問 県内の保育園での防犯カメラの設置率と設置状況、また本市の公立保育園への防犯カメラの設置はどうか。
教育次長 本市を除く県内18市の状況を確認したところ、公立保育園の設置率は28.3%、3分の1の6市が全園に設置している。設置に向けて検討している市もあり、他市でも設置が徐々に進みつつある。

令和7年9月 定例会の提出案件の審議結果

採決結果：○は全会一致 ○は賛成多数 ×は否決

議案番号	案 件	採決結果	予算決済特別委員会 審査結果	
令和６年度東御市歳入歳出決算（関連記事 P 2～7）				
議案第48号	令和６年度東御市一般会計歳入歳出決算認定について	◎	◎	
	歳入178億378万円、歳出170億5,799万円で7億4,579万円の黒字			
議案第49号	令和６年度東御市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	◎	◎	
	歳入29億4,307万円、歳出29億433万円で3,874万円の黒字			
議案第50号	令和６年度東御市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	◎	◎	
	歳入31億2,195万円、歳出30億6,812万円で5,383万円の黒字			
議案第51号	令和６年度東御市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	◎	◎	
	歳入4億8,148万円、歳出4億6,131万円で2,017万円の黒字			
議案第52号	令和６年度東御市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	◎	◎	
	事業収入6億5,068万円、事業費5億2,217万円で1億2,851万円の黒字			
議案第53号	令和６年度東御市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	◎	◎	
	事業収入12億7,614万円、事業費11億3,503万円で1億4,111万円の黒字			
議案第54号	令和６年度東御市病院事業会計決算認定について	◎	◎	
	事業収入21億6,272万円、事業費22億7,908万円			
令和７年度東御市補正予算（関連記事 P 8）				
議案第55号	令和７年度東御市一般会計補正予算（第２号）	◎	◎	
	体育施設の照明LED化、東部地区小学校給食センター建設の関わる土地借地および造成工事等3億8,607万円の増額補正			
議案第56号	令和７年度東御市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	◎	◎	
	子ども・子育て支援金制度のシステム改修に要する費用769万円の増額補正			
議案第57号	令和７年度東御市介護保険特別会計補正予算（第１号）	◎	◎	
	国県支出金および社会保険診療報酬支払基金交付金の過年度清算金等2,863万円の増額補正			
議案第58号	令和７年度東御市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	◎	◎	
	子ども・子育て支援金制度のシステム改修に要する費用280万円の増額補正			
議案第62号	令和７年度東御市一般会計補正予算（第３号）	○	○	
	宿泊交流拠点施設の用地取得および有識者による協議組織の運営等に要する費用1億9,352万円の増額補正			
条例の新設・一部改正		採決結果	常任委員会審査結果 総務産業 社会文教	
議案第59号	東御市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	◎	－ ◎	
	児童福祉法の一部改正に伴い、市町村条例で定めるべき乳児等通園支援事業の設備および運営に関する基準を定める			
議案第60号	東御市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例	◎	◎ －	
	育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行う			
議案第61号	東御市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	◎	◎ －	
	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行う			
議案第63号	東御市医学生奨学金貸付条例の一部を改正する条例	◎	－ ◎	
	地域医療を担う医師を目指す医学生を広く募るため、貸付対象者の要件を見直す			

常任委員会審査結果の「-」印は、常任委員会に付託されなかった案件です。

令和7年9月定例会の議決結果 下記以外の議案等は全会一致でした

議案 番 号	会派名・議員名 案 件	東翔の会					さわやかな風の会				しんせいの会			公明党		日本 共産党		
		田中 信寿	瀬田 智之	大塚 博文	大谷 真宙	小林 祐一	長越 修一	山崎 康一	滝澤 栄一	佐藤 裕太	花岡 豊一	村山 弘子	斉藤 哲	田中 博文	高木 真由美	西山 福恵	窪田 俊介	市毛 真弓
議案第62号	令和7年度東御市一般会計補正予算(第3号)	○	●	○	●	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●

本会議での各議員の賛否（賛成「○」、反対「●」、退席「退」、議長「/」、欠席「欠」）



小中合同の挨拶運動

部中学校区は、
なっている。東
すことが難しく
流の頻度を増や
ているため、交
小中学校が離れ
なっている。東
部中学校区は、

他 投票率向上と投票用紙
のリサイクルについて、感
染症対策について質問した。



和地域づくりの会で実施した移住者交流会での
朝鑑賞体験（市と共催）

ての課題はどうか。
の維持に関しては、
役員の高齢化と成
り手不足が課題と
してあげられてい
る。

他 農業の人手不足につい
ての質問をした。

問 現在、市が取り組んで
いる小中一貫教育の現状は
どのようなか。
教育長 北御牧中学校区の一貫教育は、平成25年から実施している。一貫教育の良さを生かした教育活動を意図的、計画的に展開しており、教職員や保護者、地

域でも一貫教育に対するイメージが具体的にになり、児童生徒の学力向上や、豊かな心の醸成がされてきていると捉えている。東部中学校区の小中一貫型教育は、平成28年度から4小学校と東部中学校で実施され、中学校とともに学ぶ子どもたちが、互いの良さや違いを認め合いながら、スムーズに学びを深めていけるよう、児童の交流や学習内容の検討が行われている。

問 一貫教育を推進する中で課題はあるか。
教育長 北御牧中学校区では、小中学校が離れているため、交流の頻度を増やすことが難しくなっている。東部中学校区は、

問 小学校区単位の各地域づくり協議会で策定した、地域の将来像の根幹である地域ビジョン見直しの進捗状況はどうか。
企画振興部長 祢津、和地区ではビジョンの見直しは完了し、冊子にして和地区は配布済み、祢津地区も配布を10月に予定している。

問 各協議会の組織体制維持についての課題はどうか。
企画振興部長 各地区とも組織体制の維持に関しては、役員の高齢化と成り手不足が課題としてあげられている。

問 地域ビジョンを実現するためには、地域づくり協議会が持続可能でなければならぬ。役員の担い手不足に対する課題解決について市の考えはどうか。
企画振興部長 役員の担い手不足に係る課題については、地域づくり活動の将来にわたる取組を左右するものである。地域のみならず市との協働活動に伴う課題解決にも影響されることから、今後も各地区で開催される地域づくり懇談会なども活用し、地域づくり協議会や地域の皆さんと話し合いをする中で課題解決に向けた取組を進めていく。



にしやま ふくえ 議員
西山 福恵

小中一貫教育の取組について



たなか のぶひさ 議員
田中 信寿

小学校区単位の地域づくりについて

田中、滋野地区は今年度中に見直しを行い、来年度中の公表を目指している。北御牧地区は、見直しすることなく現行の地域ビジョンを継続していく。

問 地域ビジョンを実現するためには、地域づくり協議会が持続可能でなければならぬ。役員の担い手不足に対する課題解決について市の考えはどうか。

企画振興部長 役員の担い手不足に係る課題については、地域づくり活動の将来にわたる取組を左右するものである。地域のみならず市との協働活動に伴う課題解決にも影響されることから、今後も各地区で開催される地域づくり懇談会なども活用し、地域づくり協議会や地域の皆さんと話し合いをする中で課題解決に向けた取組を進めていく。



宿泊流拠点施設整備事業予定地の一部

問 国からの交付金以外の資金はどうするののか。
企画振興部長 主な財源は、地方債および一般財源やふるさと納税などの寄付活用も見込んでいく。他に民間事業者からの

問 ハンドボールのゴールやボクシングのリングの保管場所を作つたらどうか。
企画振興部長 競技団体や関係者と協議をし、必要に応じて「仮設」などで対応していく。
他 公共交通の現状と今後について質問した。



滋野コミュニティ設置のAED

うな設置場所などといった、いざという時に確実に使用できる状態を保つといった観点からの慎重な検討も必要と考えているので、今後は他自治体での運用状況なども参考にしながら、研究を進めていく。

問 市で管理しているAEDの設置状況はどうか。
総務部長 令和7年8月1日現在で、市内53カ所にそれぞれ1台ずつを常備している。またこの他に、イベントなどの際の貸し出し用として2台を東御消防署に常備している。

問 夜間・閉校時における校内設置のAED利用は可能であるか。
教育次長 市内各小中学校に設置されているAEDは、基本的に、児童生徒等の学校生活における緊急時の使用を想定して設置している。校内に立ち入ることができない夜間や休日において、学校施設開放による体育館や校庭の利用者が学校設置のAEDを利用することは難しい状況である。学校施設開放で学校施設を使用している方や近隣の方が、緊急にAED使用の必要が生じた場合には、学校職員に

問 AEDの屋外設置またはすぐに取り出せる位置に設置を検討できないか。
総務部長 AEDは、日々適切な管理が行われなければ、人の生命および健康に重大な影響を与える恐れのある医療機器である。また、日常の点検体制の整備、盗難やいたづらといった防犯対策などのほか、気温や天候による影響を受けないような設置場所などといった、いざという時に確実に使用できる状態を保つといった観点からの慎重な検討も必要と考えているので、今後は他自治体での運用状況なども参考にしながら、研究を進めていく。



むらやま ひろこ 議員
村山 弘子

宿泊拠点施設の その後の進捗状況について

交渉を行い、契約成立後、既存建物の解体・撤去をする。施設の設計・建設運営に従事する民間事業者（DBO事業者）を公募するための事務事業を速やかに着手する。令和8年度以降は、設計・用地造成・建設工事や、体験・滞在型プログラムの策定や誘客に向けたプロモーション等を進め、令和9年度中の竣工を目標に進めていく。

問 リハーサル大会である「全日本社会人ボクシング選手権大会」や「ジャパンオープンハンドボールトーナメント」が2年後だが、市民への周知計画はどうか。
企画振興部長 「信州やまなみ国スポ」東御市広報基本計画に基づき、情報発信の他広報啓発看板等の設置などを進めていく。



さとう ゆうた 議員
佐藤 裕太

AEDの設置状況等について

問 AEDの屋外設置またはすぐに取り出せる位置に設置を検討できないか。

声がけをしてもらい、学校から持ち出して使用できるように対応していく。

問 AEDの屋外設置またはすぐに取り出せる位置に設置を検討できないか。

総務部長 AEDは、日々適切な管理が行われなければ、人の生命および健康に重大な影響を与える恐れのある医療機器である。また、日常の点検体制の整備、盗難やいたづらといった防犯対策などのほか、気温や天候による影響を受けないような設置場所などといった、いざという時に確実に使用できる状態を保つといった観点からの慎重な検討も必要と考えているので、今後は他自治体での運用状況なども参考にしながら、研究を進めていく。

令和7年度～9年度					内訳	
	事業費	国県支出金	地方債	一般財源		
	2,624,916	1,228,309	1,197,900	198,707		
	千円	千円	千円	千円		
年度	事業費 (単位:千円)	国県支出金	地方債	一般財源	事業内容	
R7	193,519	30,659	121,000	41,860	コンソーシアム体制整備、事業用地の測量・取得、既存建物解体・撤去工事、DBO 事業者選定、その他ソフト事業等	
R8	1,166,444	583,219	509,200	74,025	DBO 事業支援業務委託、用地造成工事、実施設計・工事監理業務委託、建設工事・付帯施設工事、その他ソフト事業	
R9	1,264,953	614,431	567,700	82,822	工事監理業務委託、建設工事・付帯設備工事（船泊交流拠点施設のみ）、その他ソフト事業	

※ R8、9年度の国県支出金及び地方債については確定数値ではありません。

宿泊交流拠点施設整備事業（第1期整備事業の財源）

能」を中心に整備し、その進捗などを踏まえて「交流・体験機能」等を段階的に整備する予定だ。整備の進め方は、設計・建設・運営を担う民間事業者を今後選定して、当該事業者の提案内容を踏まえて事業の具体化を

あったことから、本年度当初の重点事業として位置づけていないが、これまで、市政運営説明会、議会全員協議会での説明や、施設整備基本構想素案に対する意見募集など、可能な範囲で情報提供に努めてきたと認識している。今後は、事業の全体像の具体化に合わせ、適切な時期に情報をお示し、議会審議に資するよう説明していく。



破傷風ワクチン（破傷風トキソイド）

間で破傷風の受診の状況はどうか

市民病院事務長 受診

はない。なお、予防的なワクチン接種の件数は令和3年度が94件、令和4年度が63件、令和5年度が

されている。

今後の入荷量については現時点で未定である。患者数やワクチンの在庫数によつては、再度、接種の制限をする場合もある。

引き続き、出荷・入荷状況等を注視するとともに、接種が必要な患者には速やかに対応できるよう努める。



くぼ た しゅんすけ
窪田 俊介 議員

滞在型・体験型観光の推進について

年度分の交付金について内示額が示された。

進める。その過程で、整備内容や工程等を整理し、順次お示しする。

おおた
大行

破傷風ワクチンについて

などへ周知をはかった。
医師の判断で治療が必要
と判断した患者へ破傷風ワ

70件、令和6年度が71件、令和7年度は8月末現在で28件となっている。



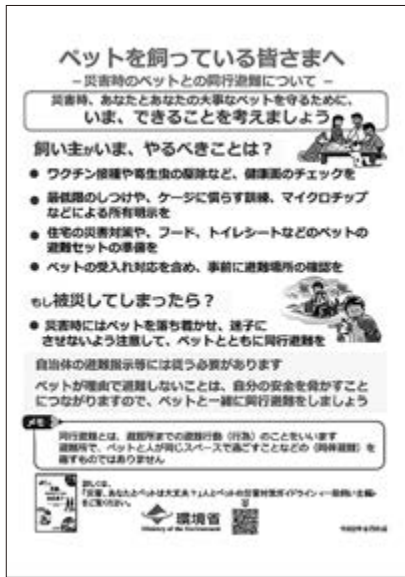
た な か ひ ろ ふ み
田中 博文 議員

災害時のペット避難対策について

問 避難所でのペットの扱いをどう考えているのか。

総務部長 災害発生の恐れ

伴の有無に関わらず、避難場所や避難所等の安全な場所に避難していただきたいと考えており、ペット同行避難は可能である。ただし、避難所内におけるペットの扱いについては、それぞれの避難所ごとの実情に応じ



環境省のパンフレット

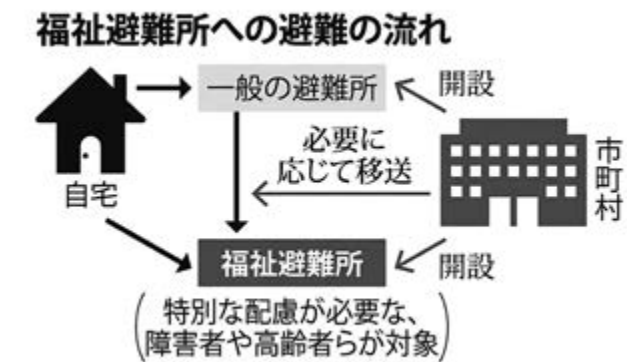
では、同伴が認められている。
問 近隣市では今回の避難訓練でペット同行避難の訓練も取り入れたそうだが、東御市はこのような避難訓練の必要性をどう考えているか。
総務部長 ペット同行訓練の実施については、近隣市の実施状況を参考にしながら今後、検討していく。

問 避難所における暑さ対策についてどう考えているか

総務部長 各避難所の暑さ対策として大型扇風機やスポットクーラーなどを防災備品倉庫に備えている。これらの備蓄資材を活用した暑さ対策が基本となるが、猛暑の場合などには、小中学校の教室や児童館、中央公民館、地区公民館などの空調設備の整った、その他指定避難所への移動なども

問 暑さ対策に対して、夏の避難所でのルール作りやマニュアルが必要ではないかと考えるがどうか。

必要に
応じて移送



問 避難行動要支援者の対象数と個別避難計画策定者数はどうか。ならびに地区別でみた避難行動要支援者の分布はどうか。

者・障がい者の個別避難計画の策定は完了している。地区別分布は、田中地区50名、滋野地区56名、祢津地区50名、和地区47名、北御牧地区45名である。

問 広域避難施設において避難行動要支援者が安心して過ごせる環境整備をどのように考えているか。

健康福祉部長 広域指定

社避難室を設け、状態の変化に留意しながら対処している。生活に支障をきたす恐れのある方に対しては、社会福祉施設等へ二次的避難できる体制を整えているところである。

問 災害時、特に配慮を必要とする方々が避難できる福祉避難所数の現状と充足状況はどうか。

災害時の避難行動要支援者への 支援体制について



さいとう さとる
齊藤 哲 議員

者・障がい者の個別避難計画の策定は完了している。

地区別分布は、田中地区50名、滋野地区56名、祢津地区50名、和地区47名、北御牧地区45名である。

問 広域避難施設において

健康福祉部長
広域指定

社避難室を設け、状態の変化に留意しながら対処している。生活に支障をきたす恐れのある方に対しては、社会福祉施設等へ二次的避難できる体制を整えているところである。

問 災害時、特に配慮を必要とする方々が避難できる福祉避難所数の現状と充足状況はどうか。

きらり★キラリ



地域の

防犯パトロールに取り組む

「和んぱく見守り隊」
隊長 伊藤 隆也さん



「和んぱく見守り隊」
について教えてください

青色防犯パトロール
の活動について教え
てください

伊藤さん 平成18年に発足し、
現在は約50人の隊員で、朝と
夕方に児童の登下校を見守る
活動をしています。

顔馴染みになった隊員と子
ども達がお互いにあいさつを
交わしたり、会話を楽しんだ
りと交流が生まれています。

また、定期的に「和んぱく見
守り隊」と和小学校、長野県
警が懇談会を開き、見守り活
動で気づいたことを情報共有
し、意見を交換しています。

今年度、和地区で青色防犯パトロールの活動を始められた
「和んぱく見守り隊」について、隊長の伊藤さんにお話を伺いました。

活動を始めるにあた
って大変だったことは
ありますか

伊藤さん 個人所有の自動車
では青色パトロールに使用で
きないことが分かったときは
困りました。
幸い、市内の企業にご協力
いただき、企業の自動車を登
録して使わせていただくこと
で解決しました。

伊藤さん これまで、各隊員
が自家用車にマグネットを
貼ってパトロールをしていま
したが、今年度から青色パト
ロール活動を始めました。こ
の活動は警察から認定され
た地域の自主防犯団体が青色
回転灯などを自動車につけて
防犯パトロールをします。現
在講習を受けた隊員12人が、
朝夕に2〜3人の組で、2時
間ほど和小学校区内を巡回し
ています。



これからの活動を教
えてください

伊藤さん 青色パトロールを
始めたことをきっかけに、児
童の見守りに加えて地域全体
の防犯パトロールにも取り組
み、皆さんがより安心して暮
らせるように貢献していきま
す。

取材感想

和小学校の子どもたちが安
心して登下校できるようにと、
見守り活動の熱量を感じまし
た。隊員の皆さんに敬意を申
し上げ、ご健康をお祈りしま
す。

山崎 康一
大塚 博文
瀬田 智文
市毛 真弓
大谷 真宙
小林 祐一
佐藤 裕太
西山 福恵
田中 博文
広報委員

市議会だよりについて、ご意見・
ご感想をお寄せください。

【発行・お問い合わせ】

東御市議会・事務局

〒389-0592 長野県東御市県281-2

TEL.0268-64-5810

FAX.0268-62-5040

／あ と が き／

酷暑もようやくおさまり、保育園の運動
会や「巨峰の王国まつり」、「火のアーツフェ
スティバル」など楽しい行事が続きました。
一方、県内では新型コロナウイルス感染症・
インフルエンザに加え百日咳の発生が収束し
ません。早い真冬の到来、厳しい寒さ予報も
出ています。今年もあと二カ月、くれぐれも
健康に留意して、お過ごしください。

市毛 真弓

議会の傍聴へ お越しください

令和7年12月定例会における一般質問は
12月8日・9日に予定されています。

本会議、全員協議会、常任委員会、特別
委員会は傍聴することができます。

定例会の日程は、確定後、
東御市議会ホームページに
掲載しますので、ご確認ください。

※一般質問の日程は変更と
なる場合があります。



東御市議会
ホームページ

1230

古紙/バクフ配合率80%再生紙を使用
再生紙を使用しています。
植物油インキを使用しています。



〔東御市議会広報紙〕第87号

◆発行日/令和7年11月1日

◆発行/東御市議会 ◆発行責任者/東御市議会議長 山崎 康一

◆編集/東御市議会広報調査特別委員会 印刷/田口印刷株式会社

この広報は議員の自主編集で発行しています。